

医療法人恵仁会 一宮整形外科
2025プラン

令和3年10月5日策定

【医療法人恵仁会 一宮整形外科の基本情報】

医療機関名：医療法人恵仁会 一宮整形外科

開設主体：医療法人恵仁会

所在地：愛知県一宮市下沼町4-8

許可病床数：令和3年8月30日まで19床（令和3年8月31日から3床に変更）
（病床の種別）

一般病床

（病床機能別）

急性期

稼働病床数：3床

（病床の種別）

一般病床

（病床機能別）

急性期

診療科目：

整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科・内科・放射線科

職員数：

- ・ 医師 2人
- ・ 看護職員 5人
- ・ 専門職 6人
- ・ 事務職員 6.5人

【1. 現状と課題】

① 構想区域の現状

(人口の見通し)

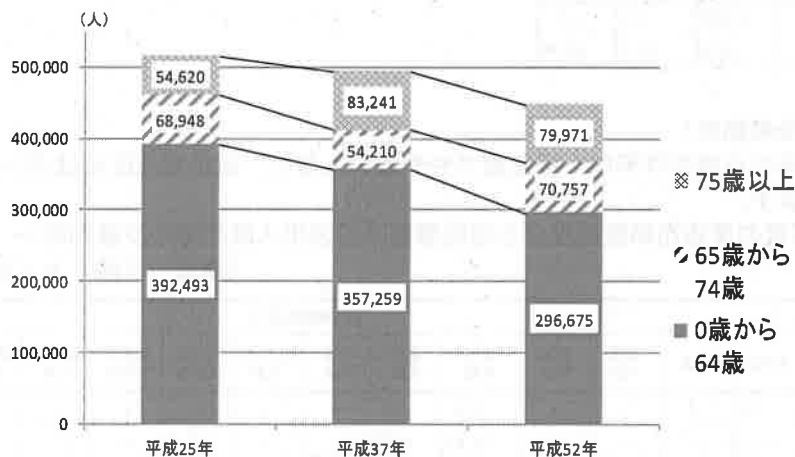
- 平成 52 年 (2040 年) に向け総人口は減少していきますが、減少率は県全体より高くなっています。65 歳以上人口は増加していきますが、増加率は県全体より低くなっています。

<人口の推移>

※ () は平成 25 年を 1 とした場合の各年の指数

区分	総人口			65歳以上人口			75歳以上人口		
	平成25年	平成37年	平成52年	平成25年	平成37年	平成52年	平成25年	平成37年	平成52年
県	7,434,996 (1.00)	7,348,135 (0.99)	6,855,632 (0.92)	1,647,063 (1.00)	1,943,329 (1.18)	2,219,223 (1.35)	741,801 (1.00)	1,165,990 (1.57)	1,203,230 (1.62)
尾張西部	516,061 (1.00)	494,710 (0.96)	447,403 (0.87)	123,568 (1.00)	137,451 (1.11)	150,728 (1.22)	54,620 (1.00)	83,241 (1.52)	79,971 (1.46)

<尾張西部構想区域>



(医療資源等の状況)

- 人口 10 万対の病床数は、県平均の 91.4% ですが、療養病床数は県平均の 61.3% と少なくなっています。人口 10 万対の医療従事者数については、医師数、歯科医師数が 8 割程度とやや少なくなっています。
- DPC 調査結果 (DPC 調査参加施設: 6 病院) によると、構想区域内において、ほぼ全ての主要診断群の入院及び救急搬送実績があり、緊急性の高い傷病 (急性心筋梗塞・脳卒中・重篤な外的障害) 及び高齢者の発生頻度が高い疾患 (成人肺炎・大腿骨骨折) の入院実績があることから、区域内に急性期入院機能を有していると考えられます。
- 消防庁データに基づく救急搬送所要時間については県平均とほぼ同様であり、DPC 調査データに基づく緊急性の高い傷病 (急性心筋梗塞・再発性心筋梗塞、くも膜下出血・破裂脳動脈瘤、頭蓋・頭蓋内損傷) の入院治療を行っている施設までの移動時間は、30 分以内で大半の人口がカバーされていることから、医療機関への交通アクセスや医療機関の受け入れ体制等に大きな問題が生じていないと考えられます。
- 高度な集中治療が行われる特定入院料の病床については、平成 28 年 3 月現在、構想区域内 (3 病院) において、救命救急入院料・特定集中治療室管理料 (ICU)・新生児特定集中治療室管理料 (NICU)・新生児治療回復室入院医療管理料 (GCU) の届出がされています。
- 平成 25 年度 (2013 年度) NDB データに基づく特定入院料の自域依存率は高い状況にあります。

<医療資源等の状況>

区分	愛知県①	尾張西部②	②/①
病院数	325	19	—
人口10万対	4.4	3.7	84.1%
診療所数	5,259	328	—
有床診療所	408	26	—
人口10万対	5.5	5.0	90.9%
歯科診療所数	3,707	226	—
人口10万対	49.9	43.8	87.8%
病院病床数	67,579	4,286	—
人口10万対	908.9	830.5	91.4%
一般病床数	40,437	2,714	—
人口10万対	543.9	525.9	96.7%
療養病床数	13,806	588	—
人口10万対	185.7	113.9	61.3%
精神病床数	13,010	960	—
人口10万対	175.0	186.0	106.3%
有床診療所病床数	4,801	303	—
人口10万対	64.6	58.7	90.9%

区分	愛知県①	尾張西部②	②/①
医療施設従事医師数	14,712	854	—
人口10万対	197.9	165.5	83.6%
病床100床対	20.3	18.6	91.6%
医療施設従事歯科医師数	5,410	318	—
人口10万対	72.8	61.6	84.6%
薬局・医療施設従事薬剤師数	10,525	655	—
人口10万対	141.6	126.9	89.6%
病院従事看護師数	36,145	2,413	—
人口10万対	486.1	467.6	96.2%
病床100床対	49.9	52.6	105.4%
特定機能病院	4	0	—
救命救急センター数	22	2	—
面積(km ²)	5,169.83	193.17	—

(入院患者の受療動向)

- 入院患者の自域依存率は、慢性期がやや低いものの、他の機能区分は80%前後で高い水準にあります。

<平成25年度の尾張西部医療圏から他医療圏への流出入院患者の受療動向>

(単位：上段 人/日、下段：%)

患者住所地	医療機関所在地													合計	
	名古屋	海部	尾張中部	尾張東部	尾張西部	尾張北部	知多半島	西三河北部	西三河南部東	西三河南部西	東三河北部	東三河南部	県外		
尾張西部医療圏	高度急性期	33	*	*	*	235	14	*	*	*	*	*	*	15	297
		11.1%	—	—	—	79.1%	4.7%	—	—	—	—	—	—	5.1%	100.0%
	急性期	65	11	*	*	755	31	*	*	*	*	*	*	35	897
		7.2%	1.2%	—	—	84.2%	3.5%	—	—	—	—	—	—	3.9%	100.0%
	回復期	54	13	26	*	875	33	*	*	*	*	0	*	27	1,028
		5.3%	1.3%	2.5%	—	85.1%	3.2%	—	—	—	—	—	—	2.6%	100.0%
慢性期	23	23	30	*	321	35	*	*	*	0	0	*	11	443	
	5.2%	5.2%	6.8%	—	72.5%	7.9%	—	—	—	—	—	—	2.5%	100.0%	

<平成25年度他医療圏から尾張西部医療圏への流入入院患者の受療動向>

(単位：上段 人/日、下段：%)

医療機関所在地	患者住所地													合計	
	名古屋	海部	尾張中部	尾張東部	尾張西部	尾張北部	知多半島	西三河北部	西三河南部東	西三河南部西	東三河北部	東三河南部	県外		
尾張西部医療圏	高度急性期	*	*	*	*	235	*	*	*	*	*	0	*	*	235
		—	—	—	—	100.0%	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0%
	急性期	10	21	16	*	755	34	*	*	*	*	*	*	11	847
		1.2%	2.5%	1.9%	—	89.1%	4.0%	—	—	—	—	—	—	1.3%	100.0%
	回復期	13	30	19	*	875	44	*	*	*	*	*	*	21	1,002
		1.3%	3.0%	1.9%	—	87.3%	4.4%	—	—	—	—	—	—	2.1%	100.0%
慢性期	12	40	*	0	321	49	0	0	0	0	0	*	*	422	
	2.8%	9.5%	—	—	76.1%	11.6%	—	—	—	—	—	—	—	100.0%	

② 構想区域の課題

- 県内病院における医師不足の影響に関する調査結果（平成 27 年 6 月末時点）によると、診療制限をしている病院数は 8 病院あり、区域内病院数（19 病院）に対する割合が 42.1%と高くなっていますが、関係機関の協力連携等により、地域全体でカバーされており、今後も見守っていく必要があります。
- 回復期機能の病床を確保する必要があります。

③ 自施設の現状

- 医療提供体制の構築に向けて、各医療機関が、地域における自らの立ち位置を把握するため、地域の実情に加え、自施設の現状を把握することが必要。
- 自施設の現状として、自施設の持つ設備・人材などの医療資源や、地域において現在果たしている役割等について記載。

- ・ 19 床の病床に対し 5 年前より使用しておりませんが、令和 3 年 9 月 1 日から 3 床稼働。
- ・ 残りの 16 床については、返還済み。

④ 自施設の課題

- 各医療機関が、地域において今後担うべき役割を検討するに当たり、地域ごとの課題を踏まえ、自施設の持つ課題を整理することが必要。
- 自施設の課題について、①～③の記載事項を踏まえて整理し、記載。

- ・ 19 床を 3 床に減らし手術後の急性期病床として使用していく。

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～④を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

- ・ 保存療法を中心とした治療に加え、手術療法にも対応し、手術後の急性期の役割として病床をして使用していく。

② 今後持つべき病床機能

- ・ 手術後の急性期のベットとして使用。

③ その他見直すべき点

- ・ 特になし。

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成2年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期			3
回復期			
慢性期			
休棟	19		
(合計)	19		3

② 診療科の見直しについて

検討の上、見直さない場合には、記載は不要とする。

<今後の方針>

	現在 (本プラン策定時点)		将来 (2025年度)
維持	3床 (16床返還済み)	→	3床
新設		→	
廃止		→	
変更・統合		→	

③ その他の数値目標について

医療提供に関する項目

- ・病床稼働率80%程度を予定。

【その他】

- ・令和3年9月1日に新築診療所にて診療開始。同時に3床の急性期病床を稼働し、手術目的後の病床として使用していく。